

農作業事故に 注意しましょう！

釧路管内は、死亡事故は少ないものの、北海道内で農業事故が最も多い地域です。事故を減らすための行動を日頃から意識することが重要です。

1 事故動向について
釧路管内の千人あたりの事故件数は全道の3倍以上のほりです。中でも標茶町は特に発生件数が多くなっています（図1）。

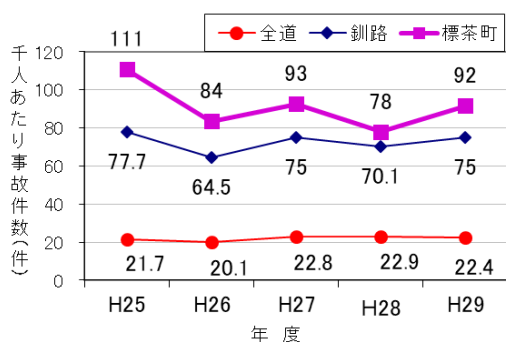


図1 農業就業者千人あたりの事故件数の推移

出展：平成25～29年度農作業事故報告書, 2015年農林業センサス

2 事故発生月について
標茶町・弟子屈町は11月、3月、5月、7月の期間で事故発生割合が高く、特に3月に多く発生しています（図2）。

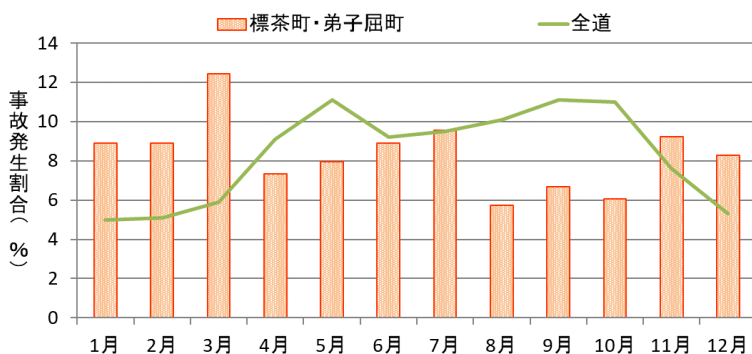


図2 平成26～28年度の月別事故発生割合

出展：平成26～28年度農作業事故報告書個票より

1月…給餌、飼養管理全般の事故が多い
2月…搾乳の事故が最も多く、牛の捕捉・保定、哺乳・哺育の事故が他の月より多い
3月および年平均…搾乳、牛の移動の事故が多い

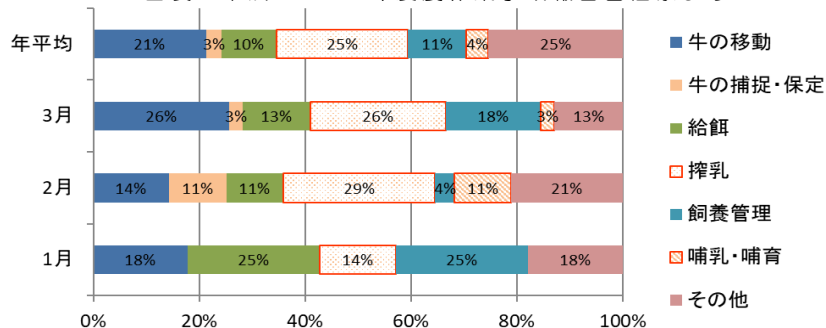


図3 平成26～28年度の事故発生月と作業内容

出展：平成26～28年度農作業事故報告書個票より

- ① 搾乳編 事故の対策
必ず牛の体に触ってから牛の間にいる
・牛に近寄る前に声をかける、牛をよく見る
・初産牛の頃から馴らす
・怒鳴ったり、たたいたりしないように気をつける
- ② 牛の移動編
・手にロープを巻き付けない
・牛が嫌がるほど追い立てない
・慌てて無理に引き留めない
・牛の進行方向に立ち入らない
- ③ 環境編
・石灰などをまいて通路や牛床を乾燥させる
・長靴の靴底のミゾがすり減ったら取り替える。安全靴を使用する
・牛舎内や周辺を明るくする
- ④ その他
・加齢による体力・判断力の低下に注意↓とっさの動きに対応しきれないため、無理をしない
・子牛から馴致する↓家族で牛の扱いを統一する
・慣れや油断、背後に注意する

農作業事故ゼロで「楽農」(らくで、たのしい酪農)を目指しましょう